



「mskkrat joint mc」の文字がカラーと共に縫いつけられたバック。このバンソン製ベストは3年前に友人がくれたもの。「細川さん、頑張ってますからね！」



「こうして改めて見てわかったんですけど、ボクの持ち物って上着からアクセサリーから何から何まで全部「人ありき」なんですよ（笑）」
 「友人知人からもらったものや、「これはお前向きだから」と探してくれたものがほとんどで、探してくれたモノがまた確実にボクの好みのものなんです。それぐらいバリエーションいいや理解されると嬉しいですね。まわりにひたすら感謝です」
 と笑う奥山さんは、仕事でウエスタンショーなどアメリカ西部を旅した時に「ふと気に入って」購入することも少なくない。
 モーターサイクルクラブ「ムスクラット」に入ったのは10年前。エヴォリジッドも所有しているが、最近の「足」はもっぱらこのショベルだという。フロントまわりはアイアンスポーツを移植。フーバーのマフラー。リアまわりはジャマーのクレージーフランク。そしてほとんどを昔のジャマーパーツで組んでいる。
 純正サドルバッグのセンター（振り分けの中央部分）は、CAP（老舗のレザークラフト店）に依頼して作り直し、ロングライダー製ソールロールは「ベルトが使いづらい（確かにそのとおりなのだ）」とバンジーコードで留めているのだった。

「人ありき」で構成されるモノ。

奥山 武、29歳。三重県出身。靴の修理とカスタムの専門店「福祿寿」オーナー。'80年式FXWG、'93年式EVO所有。



福祿寿オリジナルブーツ。ボディはRios of Mercedesで、これは試作品。パンプ（足）を完全にホールドしつつ、シャフト（スネ部分）は若干ルーズに作られている。「ボディに40年代のアウトローズが履いていたブーツに入ってたダイヤモンドステッチを入れたかった!!」



ウエスタンショーで購入したバックル（ペンダントとセット）と、テキサスで見つけたワニ皮ベルト。



明らかに銃弾を受けた弾痕がくっきりついている鉄製ヘルメットは、同MC中里氏からのもらいもの。重たいが、かなり気に入っている。



7年前、「福祿寿」を開店した時にそれを記念してストップライトにて購入したウォレット&チェーン&キーホルダー。



ゴアテックジャケットも古道具ジョニー。防塵&カッパとして着用。

秩父さん（友人・古道具ジョニー）が見つけたレアなフォアコート。

